

## 第1回 十和地域まちづくり推進協議会 議事要旨

【日 時】令和6年1月16日（火）午後7時00分～9時00分

【出席者】伊賀守委員、菊池未来委員、芝伸介委員、中平良子委員、松下知史委員、矢野健一委員、刈谷貴泉委員、栗原あゆみ委員、杉浦治郎委員（欠席：吉良憲児委員）

【行政側】富田十和地域振興局長、畦地町民生活課長、都築地域振興課係長、伊藤地域振興課主査長

### 【議事及び質疑応答】

#### 1. 開会

#### 2. 局長挨拶

#### 3. 議事

##### (1) 委嘱状交付

##### (2) 会長及び副会長の選出について

会長、副会長とともに、立候補がなし。

事務局より、会長に刈谷貴泉委員、副会長に栗原あゆみ委員を推薦し、承認を得た。

##### (3) これまでの会議内容を踏まえた町の取り組みについて（報告）

事務局より資料に沿って説明。

##### (4) 本協議会が協議する議題について（検討）

次回からの協議テーマ決定のため、「十和地域の強みと弱み」についてグループワークで意見を出し合った結果、以下の意見がでた。中でも、観光客向け、外国人客向けの取り組みとして、次回、各地域の神祭や観光スポットについて詳しく学ぶこととした。

○十和の自然を深堀→しいたけ狩り等の農業・農作業体験

○農家民宿（例：廃校利用）

○外国人客向けの祭り体験（地域の神祭、四万十川まつり）

みこし担ぎ、神楽見学、祭りの準備など

○人が足りない（リーダーシップをとれる人が必要）

○人材募集方法の工夫（有資格者に限定して募集するなど、しっかり条件を固める）

○山にある古い道（軍道）などの活用（例：トレイルラン、マウンテンバイクのコースにする）

○十和地域にカラオケができる店がなくなった（例：集会所にカラオケをおく）

○夜に飲める場所、遊べる場所がない

○ゆとりの森の活用

○屋外などでのイベントの実施（神社ライブ、結婚式、七五三…）

○人が温かい

○食べ物がおいしい

○観光客がたくさんくる

○防災時に集落で暮らせる（水がある、畑に野菜がある、トイレが使える）

○こいのぼりの川渡し

○野池でブラックバスやブルーギルを釣れる

○コインランドリーがない（道の駅など人が集まる場所にあれば災害時にも役立つ）

○昭和地域の店の減少→昭和中などあいているが使い勝手が悪い

○空き家の増加→レトロゲームのゲームセンター

○商店街に人が集まる場所がない

○人が集まるようなことができないか

こいのぼりの川渡し…自分のこいのぼりをあげたい人を募集、展望台の移動（こいのぼりを一緒に写真が撮れる場所へ）、川に竹で竹座敷を作る  
（例：京都の川床）、地元の人との交流（飲み会）

(5) その他

- ・事務局より、四万十町立図書館十和分館整備検討委員会委員に十和地域まちづくり推進協議会から栗原あゆみ委員を選出したことを報告。
- ・次回の会を、令和6年3月18日に行うこととした。